



今月のPick Up
ホームページ、
活かしてますか?

早期発見、が
大切です。



頼れるウェブの「ドクター」です!



青木祥之

Yoshiyuki Aoki

今回ご紹介するのは、ビー・クスの「ウェブ・ドクター」、クリエイティブ・プロモーション部主任の青木祥之です。

ホームページの制作・運営にとどまらず、アプリ制作やAR(拡張現実)技術の活用など、目まぐるしく変化するデジタル技術にいち早く対応する当社ウェブチームのリーダーです。ある時はIT技術者、またあるときは営業マン、さらにセミナー講師の顔も併せもつ青木。多くのお客様のお役に立てるよう、自身の知識・経験を磨きながらさまざまな形で「発信」しています。

「ホームページは作ったら終わりじゃなくて、いかに“活用するか”が大切なんです」。悩めるお客様のホームページを“診断”し、あらゆる角度から解決へと導く姿は、まさにドクター。難関「上級ウェブ解析士」という資格に裏付けされた確かなノウハウをもとに、青木らしいきめ細やかなコンサルティングでお客様をサポートしています。

身長182cm、ビー・クスで一番背の高い青木は、穏やかさでも社内で1、2を争う存在。さぞ家でも優しいお父さんと思いきや「子どもはけっこう叱りますね。すごく、怖がられてますよ(笑)」。そう言しながらも、かわいい二人の娘の話をする時はいつも顔をほころばせます。

ビー・クス社員で結成した「Vバンド」ではギターを担当し、いまは春に購入した新しいギターでの練習が趣味だとか。ウェブのプロフェッショナルとして、父親として、バンドマンとして、日々いろんな顔に磨きをかけています。

contents

PR・デザインいろはにほへと
デザインのアンテナ / vividな日常 / ズームアップV

今月のPick up

ある企業や特定の商品・サービスについて知りたい時、みなさんはどのように情報収集をしますか？「まずは企業のホームページを見てみる」「インターネットで検索してみる」という方が多いのではないかでしょう。



実績 スマートフォン用アプリ制作 | 長野商工会議所様 信州松代まち歩きNavi | 2013年9月

地域の魅力を“アプリ”で発信！

2013年9月 リニューアルしました!!

真田十万石の城下町・松代の観光スポットなどを紹介するスマートフォンアプリ「信州松代まち歩きNavi」の企画・制作をさせていただきました。

見どころや食べどころ、宿や温泉、旬のイベント情報など、松代の魅力をたっぷりと、そしてわかりやすく紹介するアプリです。「イラストマップ」から、ジャンルごとのスポットが一目でわかるので「次はどこにいこうか」「ちょっと寄り道してみよう」と、マップを見ながら楽しく散策できます。さらに、GPSとGoogleMapのナビ機能による、現在地からの具体的なナビゲーションも便利。

昨年完成したこのアプリですが、その後、操作性を改善したり、システムを変更して情報を見やすくなるなど、使いやすさを更に追求。9月1日にリニューアルしました！

ぜひ！ダウンロードをして、スマホを片手に秋の松代を散策してみてください。

ビー・クスでは、アプリに関するご相談もお待ちしております。



vividな日常

標高約2000m、平地との気温差マイナス10°C。9月下旬の美ヶ原高原にて、家族でキャンプを楽しみました。0歳からキャンプを始めたわりに「インドア派」の4歳の息子ですが現地へ行けば、岩のベッドでくつろぎ、うちわでおどり、たき火に薪をくべ、とってもたくましいアウトドア姿でした。

今回は、わが家2代目となるNEWテントの初お披露目。組み立てたテントにご満悦な様子の旦那様。総重量2kgのテントの生地の薄さに驚いたと同時に、技術のすごさを感じました。

沈む夕日に励まされ、澄んだ空気でリフレッシュ。明日からも頑張ろうという気持ちになりました。帰り道、美ヶ原高原美術館に立ち寄り、アートを感じ、心身ともにさらにリフレッシュできました。

デザインのアンテナ

7年後に思いをはせてー。

東京2020オリンピック・パラリンピック招致ロゴ

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催場所に、東京が選ばれました。

ニュースや新聞でよく見かけたこのロゴ。東京招致への希望の象徴としてつくられたものですが、一人の学生が作ったものだということを皆さんご存知でしたか？女子美術大学の島峰藍（しまみねあい）さんがデザインしたもので、公募で集められた作品の中から、アートディレクターの佐藤可士和氏による審査でグランプリに選ばれました。その後、工業デザイナー栄久庵憲司（えくあんけんじ）氏による監修のもと、島峰さん本人がデザインの最終形まで制作したそうです。

オリンピックカラーに、東京を表す「江戸むらさき」を加え、サクラの輪を表現したこのロゴ。東京、そして日本の力が世界をつなぎ、やがて一つの輪をつくるー。そんな強い思いがこの美しいデザインを生み、東京へと五輪呼び寄せたのかも知れません。



WEBで効果的なPRを！ ホームページ、活かしてますか？

ただ、ホームページといつても、さまざまなものでつくられており、会社案内がメインのものや、商品販売がメインのものなど、内容や情報の見せ方もそれぞれです。

ただ、ホームページの訪問者（＝お客様）にとって大事なことは、知りたい情報が「すぐに」「詳しく」手に入れられること。例えば、欲しい商品があつてホームページを訪れた場合、その商品の良さやアフターサービスなどの情報がきちんと表示されていれば、訪れた人の第一欲求は満たされます。反対に、求めている情報にたどりつくまで時間がかかるたり、情報が少なかつたりわかりにくかつたりすると、すぐにそのホームページから離れてしまうでしょう。

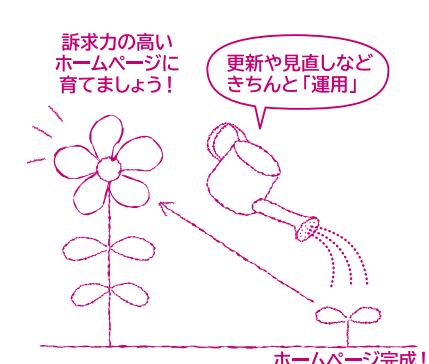
実際のお店で考えてみましょう。せっかくドアを開けてお店に入ってきたのに、商品がどこにあるのかわかりにくい。やつと見つけたとしても手にとつてよく見ることができない。店員

そして、ホームページは、作つたら終わりではありません。例えば、「新着情報」やブログの最新更新日が数年前のままだったり、お客様にそのホームページの情報すべてが古いと感じさせてしまうでしょう。しかも、更新していないサイトは検索サイトで表示される順位がどんどん下がってしまう可能性があります。これではせっかく作ったホームページが台無しです。

また、自社のホームページが「どのように見られているか」を知ることも

ビー・クスではホームページの制作はもちろん、ブログ感覚で気軽に更新作業ができるシステムのご提案やアクセス解析、WEB広告による集客など、定期的な更新と見直しつつ、運用し、訴求力の高いホームページにクセ解析といいます。

ホームページは作つてからが勝負。時間はどのくらいかーなど、実際のお客様が「たまたま」ではなく、情報を探めてホームページに立ち寄つてしまい。お客様の立場で情報を整理し、わかりやすく導く工夫をすることが大切です。そうすることで、需要のあるお客様に対しても効果的にPRすることができます。



ある企業や特定の商品・サービスについて知りたい時、みなさんはどのように情報収集をしますか？「まずは企業のホームページを見てみる」「インターネットで検索してみる」という方が多いのではないかでしょう。

インターネットでは、ほんどのお客様が「たまたま」ではなく、情報を探めてホームページに立ち寄つてしまい。大切なお客様ですから、親切にご案内していただくにはどうしたらいいか、満足していただくにはどうしたらいいか。商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

お客様の立場で情報を整理し、わかりやすく導く工夫をすることが大切です。そうすることで、需要のあるお客様に対しても効果的にPRすることができます。

ホームページは作つてからが勝負。時間はどのくらいかーなど、実際のお客様の行動を分析して、ホームページの改善に役立てることも可能です（アクセス解析といいます）。

ホームページは作つてからが勝負。時間はどのくらいかーなど、実際のお客様の行動を分析して、ホームページの改善に役立てることが可能です（アクセス解析といいます）。

さんが何の説明もしてくれない。なん

だか活気がない…。そんなお店では、

商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

インターネットでは、ほんどのお客様が「たまたま」ではなく、情報を探めてホームページに立ち寄つてしまい。大切なお客様ですから、親切にご案内していただくにはどうしたらいいか、満足していただくにはどうしたらいいか。商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

お客様が「たまたま」ではなく、情報を探めてホームページに立ち寄つてしまい。大切なお客様ですから、親切にご案内していただくにはどうしたらいいか、満足していただくにはどうしたらいいか。商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

さんが何の説明もしてくれない。なん

だか活気がない…。そんなお店では、

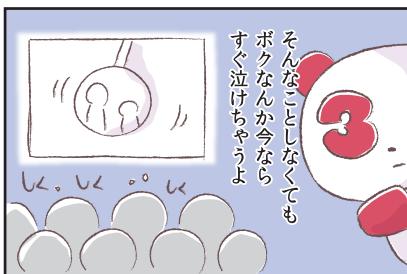
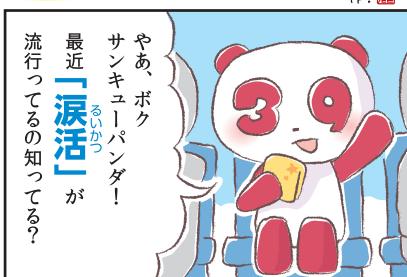
商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

インターネットでは、ほんどのお客様が「たまたま」ではなく、情報を探めてホームページに立ち寄つてしまい。大切なお客様ですから、親切にご案内していただくにはどうしたらいいか、満足していただくにはどうしたらいいか。商品を買うどころかすぐに出で行きました（いわば「見込み客」といえます！）。

さんが何の説明もしてくれない。なん

だか活気がない…。そんなお店では、

39パンダの野望



つづけ…たい。

編集後記

すっかり秋らしくなりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。スポーツ、芸術、読書、おいしいもの…過ごしやすいこの季節に、色々楽しみたいですね。

さて、この社外報、おかげさまで1周年を迎えることができました。3か月に1度ではありますが、社外報を通して皆さんにビーグスを知っていただくとともに、自社のサービスや取り組みについて見つめ直すいい機会となっております。お知らせだけで満足せず、よりいっそう充実したサービスを模索して参ります。今後ともおつきあいいただけますようよろしくお願いいたします。【吉田葉子A】



いつも
お世話です

クリエイティブ・プロモーション部
瀧澤 亮輔

突然ですが、ビーグスには「たきざわ」が3人おります(いただいたお電話、取り次ぎがスムーズでないことも…申し訳ございません!)。私は主にWEB関係の仕事に携わっておりますので、いつも「WEBの瀧澤」とごいさつさせていただいております。

以前は社内での作業がほとんどでしたが、最近は外に出る機会が増えてきました。先日、「リスティング広告」という弊社のWEB広告サービスをご利用いただいているお客様の所伺った時のことです。「ホームページから商品が売れたよ!」と嬉しいご報告をいただきました。お客様が喜ぶお姿を見ると、「お手伝いさせていただいてよかったです!」と本当に嬉しく思います。これからもお客様に喜んでいただけるサービスを目指して頑張ります!



発行・編集 株式会社 ビーグス

住所 〒380-0911 長野市稻葉 891-3
TEL 026-251-1791(代) FAX 026-251-1795
mail info@viex.co.jp URL http://www.viex.co.jp



**ズーム
アップV**

ビーグスでは「皆が気持ちよく働ける職場環境を自分たちの手でつくっていこう!」と、日頃からさまざまな活動を行っています。そんな“ビーグス色”あふれる取り組みをご紹介します。

「ありがとう 委員会①」

デザインについて互いにアドバイスをしたり、締め切り間際の仕事をフォローし合ったりと、わたしたちは日々協力し、助け合いながらさまざまな仕事を進めています。そこで忘れてはならないのが、感謝の気持ち。「ありがとうございます」「助かった」と、その場で直接伝えることが大切のですが、時には忙しさに追われてつい言いそびれてしまうこともあります。

ビーグスでは、そんな心に留めます。

伝える内容は、「あの時、あんなことが嬉しかった」といった、いつと

きのものに限りません。常日頃からとても感謝しているけれど、

シャーププログラムがあります。通称「ありがとうございますカード」。名刺サイズのかわいらしいカードに、感謝の気持ちと、それを伝えたい相手の名前、自分の名前が記入できます。

この取り組みは、「ありがとう

の気持ちをいつも大切にして、社内で伝え合い共有したい、という社長のひとことから始まりました。カードの収集・配達をはじめた。カードの企画・運営を行っているのは、若手社員を中心とした委員会です。次回詳しく紹介いた

れるのです。

カードを受け取る側は、あの時の行動が喜んでもらえたんだ!毎日近くにいる人に、「こんな風に思っていたんだ!」と、それは嬉しいものです。自分で気付けなかつた新しい自分を発見できるのも「ありがとうございますカード」の魅力です。

社外報vol.4をご覧いただき、皆さまからあたたかいご意見をいただきました。ありがとうございます!

●フォントの話、参考になりました!これまで何となく使っていましたが、今度書類をつくる際に意識してみます。(B社A様)

●私もむかし卓球部でした。十数年ぶりに、ラケットを触りました。いつかお手合わせを願っています。(T社Y様)

よりお役に立てる、楽しい社外報づくりのため、
皆さまのご意見・ご感想・ご質問をお待ちしております。
各営業担当までお気軽にお寄せください!



見る!
食べる!
楽しむ!
松代を歩くのが楽しくなる、
スマートフォン用アプリ。

信州 松代 まち歩き Navi

いつでも使いやすく、リニアアル!

無料

今すぐアプリを手に入れよう! 持っている人は更新しよう! ダウンロードは無料です!

iPhoneの方 はこちらから ➤
または App Store にて [松代] で検索 Q

Androidの方 はこちらから ➤
または Play ストアにて [松代] で検索 Q